

ふげんの廃止措置における クリアランスについて

ふげんにおける現場実務の状況と
福井県リサイクルビジネスへの期待

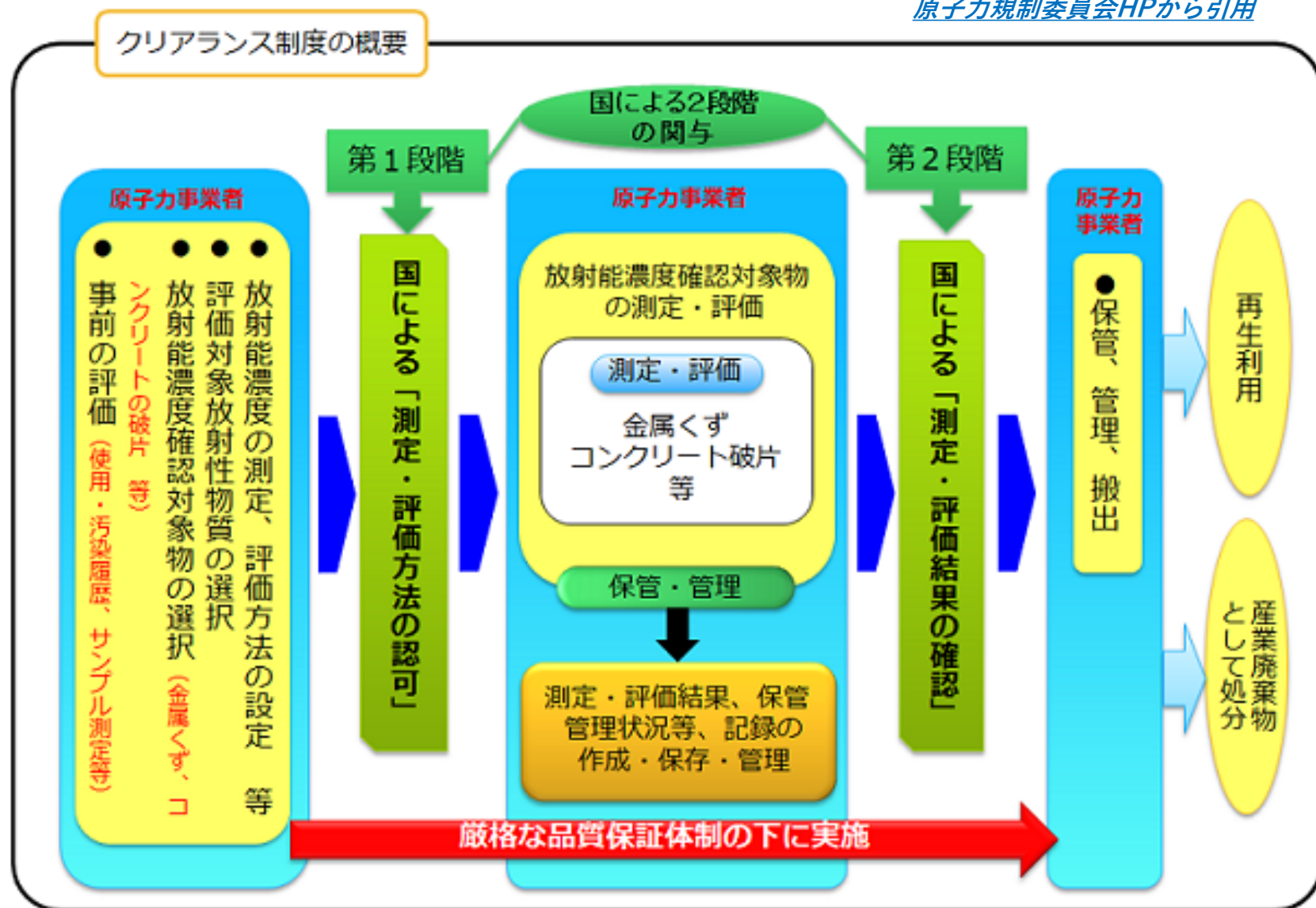


令和8年4月23日
株式会社TAS 森下 喜嗣

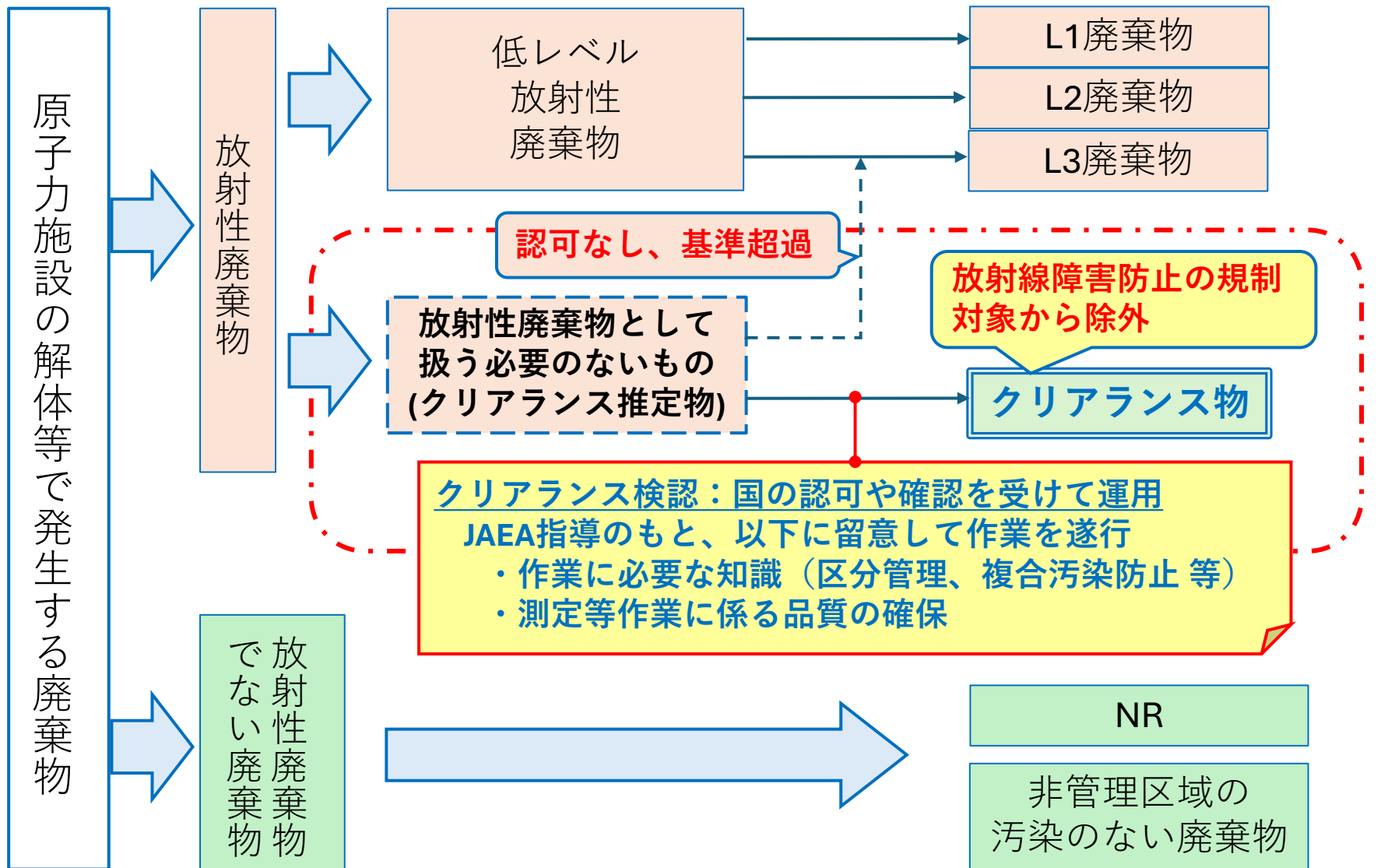
- (1) ふげんの廃止措置で発生した解体撤去物へのクリアランス制度の適用状況
- (2) クリアランスされた金属の再利用の状況
- (3) 福井県が進める原子カリサイクルビジネスへの期待

クリアランス制度

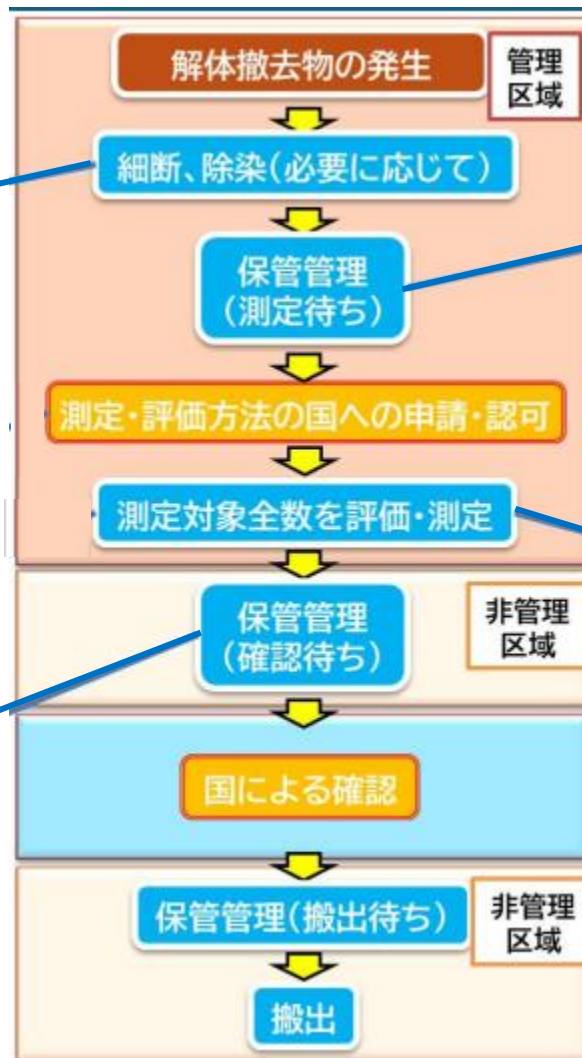
原子力規制委員会HPから引用



廃止措置等からの廃棄物とクリアランス制度の適用



ふげんにおけるクリアランス制度の運用



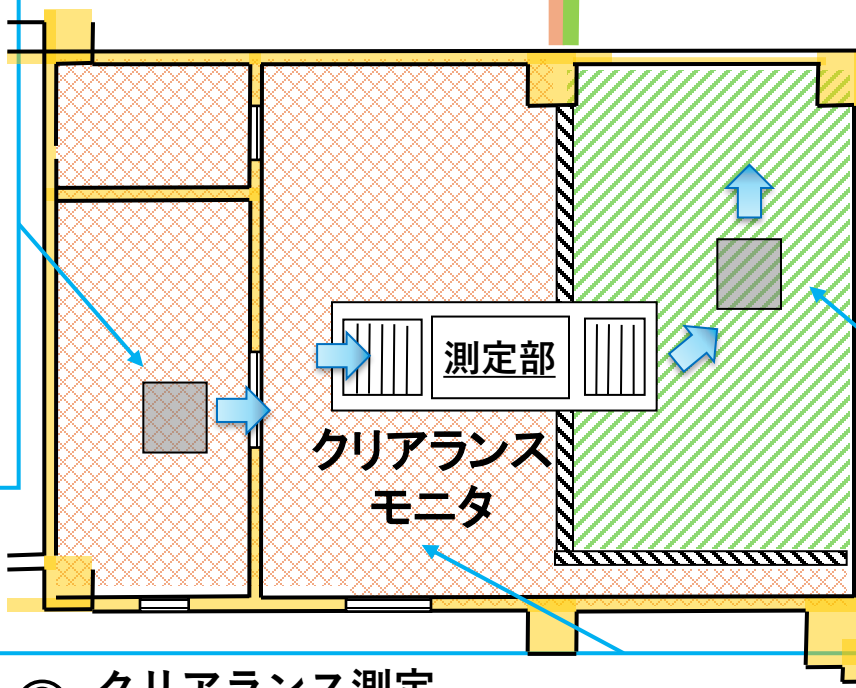
現場でのクリアランス測定・評価

汚染のおそれのある区域 ← → 汚染のおそれのない区域

① 搬出サーベイ
(表面汚染密度測定)



「物品搬出基準」への適合を確認



「測定単位」の保持・混在防止措置

③ 管理区域からの搬出
(対象物の収納等)

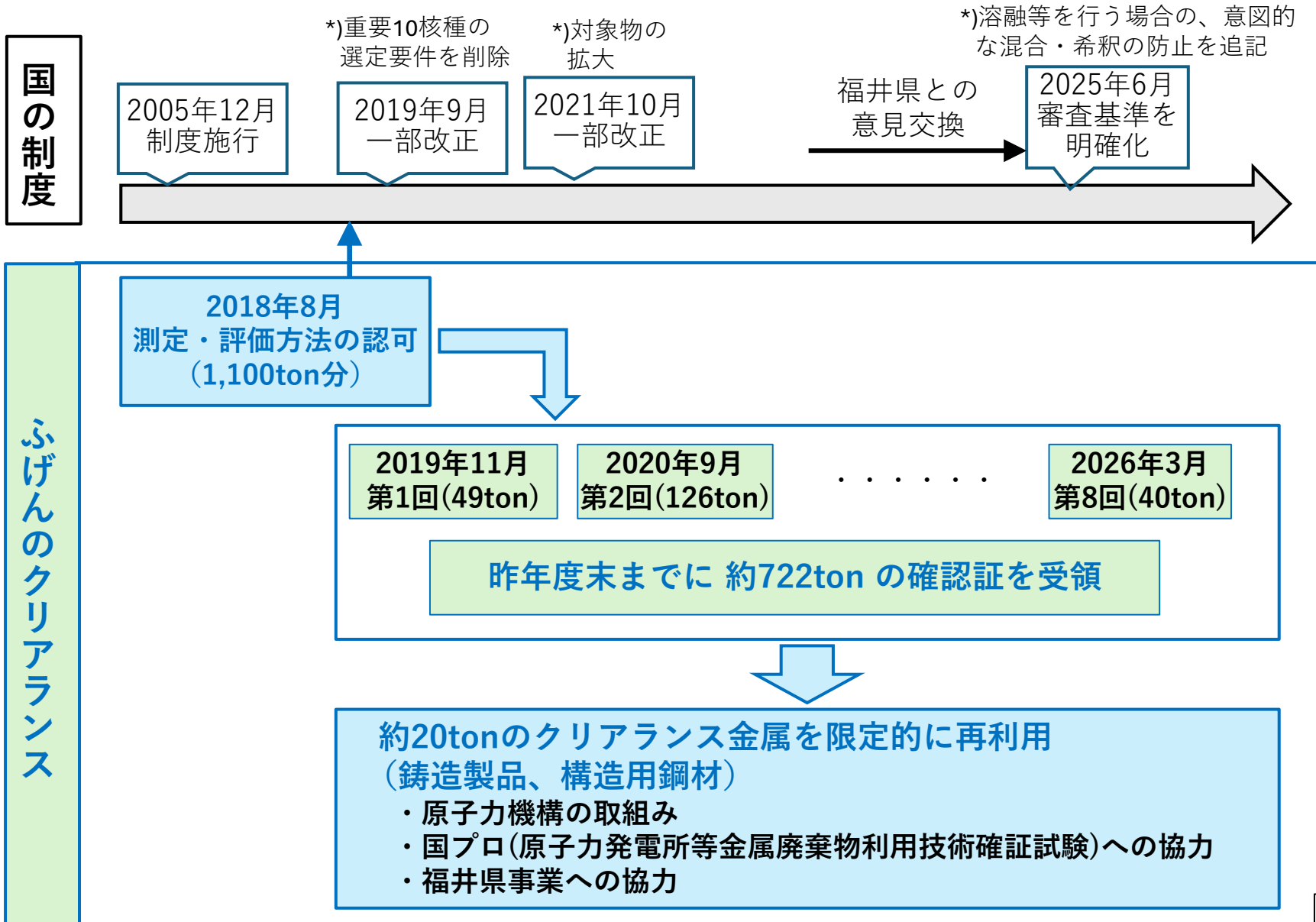


② クリアランス測定
(対象物の配置、重量測定、放射線測定、配置状態の記録等)

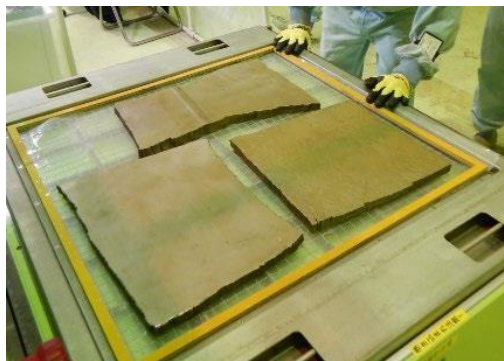


「国の確認」に備えた測定配置状態の記録

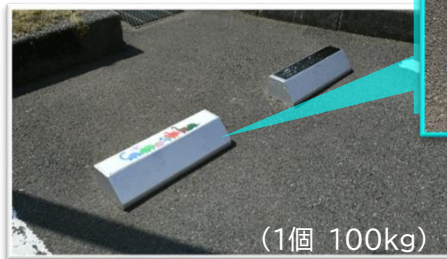
クリアランス制度と実績、再利用への取組み



JAEAのクリアランス金属再利用への取組み



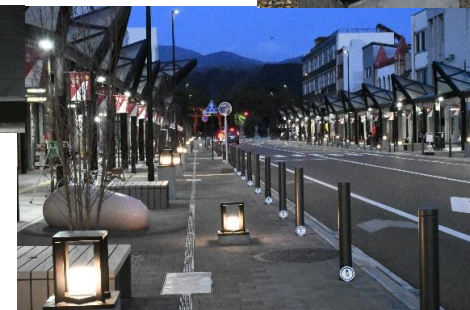
○車両止めの製作 3対(6個)
2022年度の福井県嶺南Eコースト計画に基づき、ふげんCL金属を加工して車止
めを製作



○敦賀事業本部駐車場設置
2023/3/30(プレス公開)
○電力PR館施設への展示
2023/3/31



○照明灯、サイクルスタンドの製作 (国プロ※への協力)
2022年度の国プロにおいて、県内高校及び県内企業において、「照明灯」、「サイクルスタンド」を製作



○神楽町商店街に設置した「行燈」
2026/3/14(プレス公開)

照明灯設置 (左: 敦賀工業高校、右: 福井南高校)

サイクルスタンド設置 (福井県年縞博物館 設置例)

※「低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業 (原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)」

原子力機構から公開され
た資料をもとに作成



写真: 福井県提供

敦賀市松原橋 補強工事場所
(2基の橋脚のうち1基に使用)

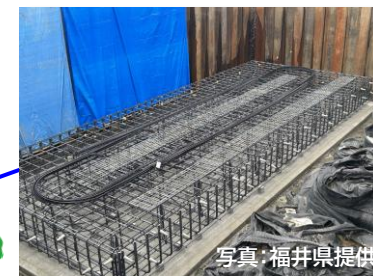
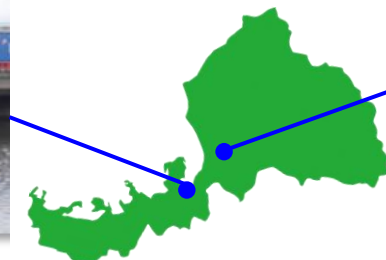
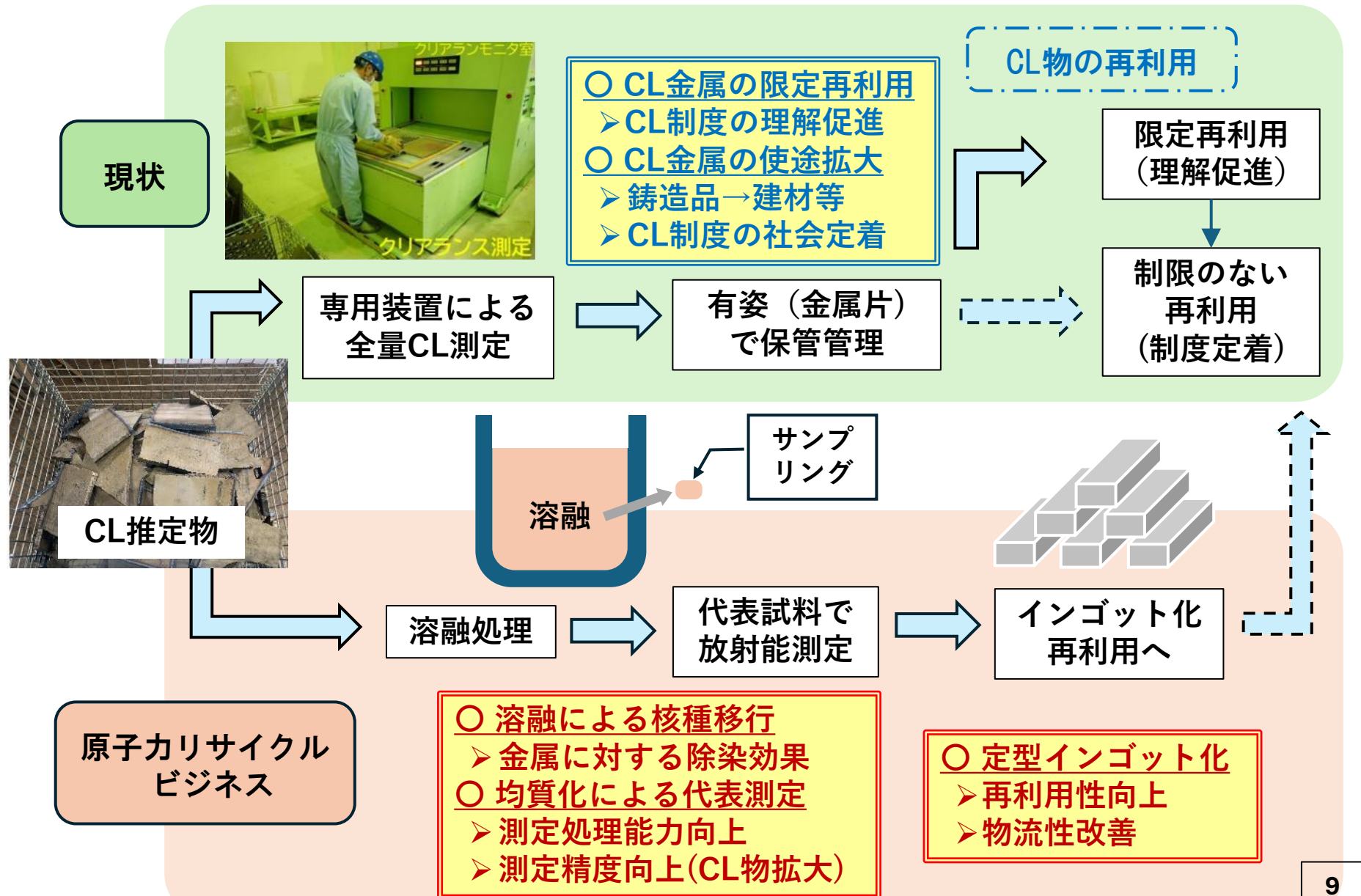


写真: 福井県提供

南越前町鯖波大橋(仮称)
新設工事場所
(4基の橋脚のうち2基に使用)

クリアランスの現状と原子カリサイクルビジネスの意義



まとめ (1/2)

- JAEAふげんでは、専用の測定装置により対象金属の全数を物理的に測定する方法によりクリアランスを実施
- 弊社は、ふげんにおいて廃止措置から発生した解体金属のクリアランスのために除染や測定作業を担当
- JAEAは、測定済みの約722トンについて国の確認を取得このうち約20トンについてフリーリリースに向けた理解促進のために、
 - JAEAで限定再利用
 - 関係先での限定再利用のためにクリアランス金属を提供
 - 再利用先は、これまでの鑄造製品に加えて構造用鋼材に拡大

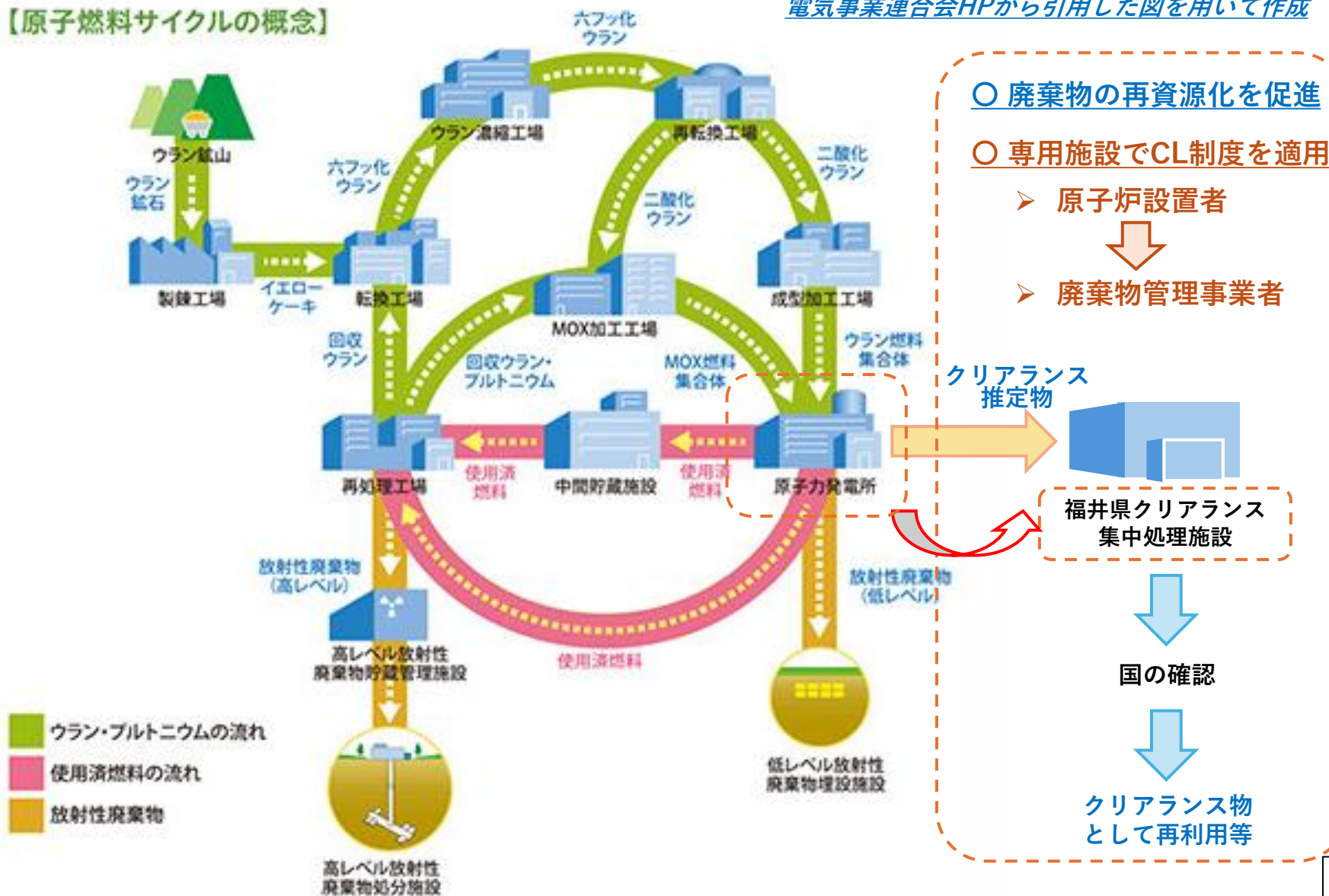
まとめ (2/2)

- 福井県では廃止措置ビジネスの促進のため、3事業者も協力して溶融均質化と代表測定を組み合わせることで各事業者のクリアランス対象金属を一元的に処理するリサイクルビジネスの準備が進められている
- この一元的処理によりクリアランスの促進が期待される
 - クリアランス処理能力が向上
 - 溶融処理時の除染効果や測定サンプルの定型化による測定の単純化により、クリアランス範囲が拡大
 - 処理後のクリアランス物の一次素材（インゴット等）化により、再利用性が向上

原子燃料サイクルとクリアランスの集中処理施設

【原子燃料サイクルの概念】

電気事業連合会HPから引用した図を用いて作成



○ 廃棄物の再資源化を促進

○ 専用施設でCL制度を適用

➤ 原子炉設置者



➤ 廃棄物管理事業者